

ノーベル生理学・医学賞を受賞した、本庶 佑（ほんじょ たすく）さんから学ぶ

御代田中学校長 勝見 藤一

12月27日に行われた2学期終業式の校長挨拶を以下のとおり紹介させていただきます。
今日は、皆さんに今年、ノーベル生理学・医学賞を受賞した、京都大学特別教授の本庶佑（ほんじょ たすく）さんのお話をしたいと思います。

ノーベル賞に輝いた受賞理由は、画期的ながん治療方法への応用です。

皆さんの周りには、がんという病気のために亡くなった親戚の方とか知っている人などはいないでしょうか？ 校長先生の周りでは、がんに関わって亡くなった人が、かなりの割合で多いです。今や大人の2人に1人はがんに関わると言われている時代です。

本庶さんは、従来のがん細胞を除去したり破壊したりする手術、放射線、抗がん剤という3本柱の治療法とは、全く異なり、がん細胞を攻撃する免疫細胞にブレーキをかけるタンパク質「PD-1」を発見したことが、画期的ながん免疫療法に結びつきました。本庶さんの研究は、がん治療の常識を覆す希望の光となっています。

免疫細胞は体外から侵入した異物や病原体、体内の悪性新生物（腫瘍（しゅよう）細胞）などを認識し特異的に攻撃する免疫反応をおもに担当する細胞の総称です。免疫細胞は不良品のがん細胞を見つけるとやっつけるんですが、がんが大きくなるとなぜだか攻撃しなくなります。それは、がん細胞が免疫細胞から攻撃されると、PD-L1という分子を出し、免疫細胞から出るPD-1というタンパク質と結合し、免疫細胞にカバーを掛けて攻撃をできなくさせます。そこで、その結合をできなくしてしまうのがニボルマブという薬品です。薬品の商品名はオプジーボという薬です。この薬を投与することによって免疫細胞が攻撃できるようになり、がん細胞をやっつけてしまうということです。

卵巣がんになった60代の女性が、京都大学病院で余命3カ月と言われていましたが、治療をはじめて4カ月で完全にがんが消えました。今ではゴルフを楽しんで元気そのものだそうです。効く人には非常によく効くという症例です。

このように偉大な発見をした本庶さんですが、ノーベル生理学・医学賞を受賞した記者会見の中で、このように語っています。

Q：将来、研究者の道に進む夢を見る子どもたちに、どんなことを伝えたいですか？

A：『研究者になるに当たって大事なことは「知りたい」と思うこと、「不思議だな」と思う心を大切にすること、教科書に書いてあることを信じないこと、常に疑いを持って「本当はどうなっているのだろう」と。自分の目で、ものを見る。そして納得する。そこまで諦めない。そういう小中学生に、研究の道を志してほしいと思います』



生徒総会後の
現・新役員引
継ぎ会より

委員会ごとに
細かな引継ぎ
を行いました。



～ 生徒会長への抱負 ～

平成31年度生徒会長を務めます土屋裕聖です。

私はこれからの御代田中学校をより良い学校にするため、全員参加の生徒会を目指します。そして、この目標を達成するために実現したいことがあります。

それは、役員に直接意見を言える場を設けることです。直接意見交換を行うことにより、一人一人の生徒の意見が届く生徒会になり、さらに活発な生徒会活動ができると思うからです。また、これからの生徒会行事を通して、先輩後輩の垣根を超え、より一層良好な関係になるよう全力で努めてまいります。

そして、これからおこなわれる数々の生徒会行事を成功させるためには、全校の皆様のご協力が必要です。みなさんでより良い生徒会をつくっていきましょう。1年間よろしくお願いいたします。

あさまやま

御代田中学校便り

平成三十年度 第五号

2019年

2月1日

2月の主な行事

- 7日 学校評議員会
- 8、9日 前期選抜
- 12日 3年総合テスト
- 18日 小中連絡会
- 21、22日 1、2年
期末テスト

3月の主な行事

- 6、7日 後期選抜
- 8日 生徒総会
- 13日 3年生を送る会
- 14日 3学期終業式
- 15日 卒業証書授与式

学校目標
美しく
雄大な
浅間山に学ぶ

書写(国語)

朝学習(3年生)



12月には、龍岡一朗先生と、龍岡先生に師事する御代田町在住の4名の先生方を講師としてお招きし、書写指導を行っていただきました。学校教育活動へのご協力、誠にありがとうございます。

地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う生徒たちの成長をお支えいただけますことに、心より感謝申し上げます。



秋より理科室を開放し、朝学習(自主学習)ができる環境を整えています。受検を目前にし、毎日教科学習に必死に取り組む生徒がいます。応援しています。

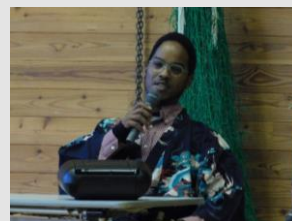
学校生活の様子から



百人一首大会

1月24日には、各クラス1名、15人程度の班に分かれ、百人一首大会が繰り広げられました。

防寒・インフルエンザ対策もしっかり施しています。



毎年、校長先生、教頭先生、今年度赴任した先生方、そして3学年の担任が札を読み上げます。読み上げが始まるや否や「はい!」と大きな声が体育館に響き渡りました。冬休みや国語の授業で覚えた札を取り、満面の笑みを見せる生徒の姿がありました。

～3年生の受検が始まっています～

1月の末から、私立高校、公立高校前期、公立高校後期と受検が続きます。受検に向かう日々は苦しいのが当たり前。でも辛い経験や我慢こそ自分の成長につながります。

“一方は「これで十分だ」と考えるが、もう一方は「まだ足りないかもしれない」と考える。そうしたいわば紙一枚の差が、大きな成果の違いを生む。” 松下幸之助さん(パナソニックを一代で築き上げた経営者)の言葉を3年生に送ります。

全国的に猛威を振るっているインフルエンザですが、本校におけるインフルエンザによる欠席は1月末現在0名です。これまで、各ご家庭で确实な予防策をとっていただいたおかげと感謝いたします。今後も引き続きの予防をよろしくお願いいたします。

